

# 歴史ウォーキング 謎の大王 継体天皇ゆかりの史跡めぐりとうしのまつり

～びわ湖里山を大切に環境保全に努めましょう～

「日本書紀」によると、継体大王は応神天皇五世の孫とされている。父の彦主人王（ひこうしおう）が住んでいた近江国高島郡の別邸「三尾之別業（みおのなりどころ）」で生まれ、父の死後は母の振媛（ふりひめ）の実家があった越前国坂井郡の高向（たかむく）で育った。58歳のとき、武烈天皇の後継者として河内の樟葉宮（くずはのみや）で即位し、その後「筒城宮（京田辺市）」、「弟国宮（向日市・長岡京市）」と順に遷都し、即位から20年後、526年に大和王朝「磐余玉穗宮（いわれたまほのみや）（奈良県桜井市）」に入ったとされる。この即位物語は、越前や近江を基盤とする豪族がかかわった古墳時代後期のはじめ（6世紀前半代）の実際の政変を反映していると考えられている。高島市の継体大王のゆかりの史跡から、みなさんと歴史ロマンを語りましょう！



## 今回のポイント↓

- ① 彦主人王は、なぜ高島の地に移り住んだのでしょうか？ 高島宮はどの辺？
- ② 動乱塚から彦主人王陵へ、田中神社宮司さんの研究
- ③ 6世紀前半代のこの即位物語に、豪族たちがどのようにかかわったか、見てみましょう！
- ④ 鴨稲荷山古墳（前方後円墳）・36号墳（円墳）の古墳の変化や豊富な副葬品から、社会変化について学びましょう。
- ⑤ 磐井の乱はなぜ起きたのか？馬はどこからきたの？など、地方豪族の台頭と当時の国際情勢についても語りましょう！
- ⑥ “うしのまつり”は、神社本庁が示す例祭式によらず、古来から伝わる「特殊神饌」を調進献上し、古来から伝わる特殊な祭典形式で神事を斎行。全国でも珍しいお祭りです。



三重生神社とうしのまつり

- ・日 時 令和8年4月12日（日） 10:00～16:20 小雨決行
- ・集合場所 JR安曇川駅 10:00
- ・参加費 1,800円（資料 事務経費 イベント保険 環境整備費） 当日受付にて徴収 別途乗合タクシー300円×2回自己負担
- ・持ち物 弁当 水筒（お茶） 帽子 雨具 健康保険証の写し など
- ・申込方法 電話・メール・FAXにて下記必要事項をご記入のうえお申込みください。

**必要事項：**代表者のお名前・ご住所・電話番号・参加者全員のお名前・生年月日・交通手段  
ただし、メール・FAXでお申込みの場合、事務局より2・3日以内に受付確認の連絡をします。  
2・3日以内に連絡のない場合、お電話でお問い合わせください。

電話・FAX 0740(32)0206 e-mail [qsms10680@maia.eonet.ne.jp](mailto:qsms10680@maia.eonet.ne.jp) 携帯 09046877589(阿部)  
<https://koseiyumehu04.web.fc2.com>

コース JR安曇川駅—朧衣塚—鴨稲荷山古墳—三尾里バス亭乗合タクシー乗車—健康の森東口下車—梅の子運動公園—安産もたれ石—彦主人王御陵—田中36号墳—田中神社—三重生神社・うしのまつり—健康の森東口乗合タクシー乗車—JR安曇川駅 16:21 着

主催 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

520-1221 滋賀県高島市安曇川町青柳 992-2